

はかた中だより

第11号

令和3年3月18日

校訓 「自らが学ぶ」

学校の教育目標

「豊かな心を持ち、

主体的に行動する生徒の育成」

TEL: (0897) 72-1055

FAX (0897) 72-1053

新型コロナウイルスの感染防止対策を実施した中、在校生と卒業生の保護者が出席し、卒業生を祝福するための「卒業証書授与式」を、無事に開催することができました。

このことは、保護者の皆さまが、日頃からご家庭において、感染対策を徹底していただいた成果だと感謝しております。本当にありがとうございました。

<卒業証書授与式>

～ 式次第 ～

- 1 開式の言葉
- 2 国歌斉唱
- 3 卒業証書授与
- 4 校長式辞
- 5 教育委員会告示並びに記念品授与
- 6 PTA記念品授与
- 7 今治市長お祝いの言葉
- 8 祝詞・祝電披露
- 9 卒業記念品贈呈
- 10 在校生送辞
- 11 卒業生答辞
- 12 唱歌「仰げば尊し」
- 13 唱歌「蛍の光」
- 14 校歌斉唱
- 15 閉式の言葉



<校長式辞>



<今治市教育委員会告示>



<記念品授与>
(代表 児玉 春来 さん)



<卒業記念品贈呈>
(代表 村上 凜華さん)



<PTA 記念品授与>
(代表 野間 玲音さん)

送 辞 (在校生代表 中野 皓仁 さん)

春の訪れを感じる今日、伯方中学校を旅立たれる卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今、先輩方の胸の中は、三年間の思い出でいっぱいのことと思います。

特にこの一年は、新型コロナウイルス感染防止のため、我慢を強いられる年となってしまいました。総体の中止、運動会や文化祭の規模縮小。それでも先輩方は、前を向いて走り続けていました。

運動会に向けて猛暑の中、夏休みを削ってまでみんなを楽しませよう、学校中を盛り上げようと頑張ってくださいました。文化祭の人権劇では、迫真の演技にたくさんの人が心を打たれました。いつも、いつでもどんな状況でも全力で楽しむ。お互いを尊重し合い、笑顔で友と時間を過ごす。そんな先輩方の姿は、とても輝いていました。思い返してみると、たくさんの思い出、そして、たくさんの感謝がふれ出てきます。先輩方と過ごした日々は、私たちの心に深く刻まれています。本当にありがとうございました。

先輩方と過ごす時間も今日で終わってしまうのかと思うと大変寂しく、心細い思いもあります。しかし、私たちのよきお手本、憧れだった先輩方、そしてその思い、築き上げられてきた伝統をしっかりと受け継いでいくことを、私たちは、今、ここでお約束します。

これから先輩方は、一人一人違う道を歩いて行かれることとなります。それぞれの輝く未来に向かって、力いっぱい前進されることでしょう。どんな困難があっても、その状況を乗り越えられた先輩方だからこそ、いつも通りの笑顔で乗り越えていかれることと確信しています。在校生一同、心から応援しています。先輩方のご健康と今後のご活躍をお祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。



答 辞 (卒業生代表 馬越 結梨 さん)



暖かくやわらかな春の日差しに包まれた今日のよき日、私たち三十七名は卒業の日を迎えました。本日は私たちのために、このような素晴らしい式を挙げていただいたことに、卒業生一同、心から御礼申し上げます。

入学式、私はここで「誓いの言葉」を言わせていただきました。緊張で膝が震え、頭が真っ白になったことを今でも覚えています。

あっという間の三年間でしたが、それでもこの三年間、伯方中学校でたくさんを経験し、学んだことで、膝の震えをごまかすことに、精一杯だったあの時の私に比べて、大きく成長できたと思っています。

数えきれないほどの思い出。中でも、最後の運動会。なかなかチームがまとまらず、しんどい日々が続いていました。でも、みんなで励まし合い、努力し続けた結果、徐々にチームもまとまり、本番ではみんなの最高の笑顔を見ることができました。あの時感じた大きな達成感は、みんなの笑顔は何にも代えがたい大切なものになりました。

文化祭では、クラス一丸となって、合唱や人権劇に取り組みました。本番では予定通りにはいかず、ハプニングもありましたが、それでも間違いなく、今までで一番楽しく、一番良いものを披露することができたと思っています。

何気ない日々の生活も、幸せな思い出であり、大切な宝物です。でも、そんな日々も今日で終わります。辛く感じた長い坂道を上ることも、おいしい給食を食べることも、大好きな友達と、くだらないことで笑い合うことも、全て過去のものとなってしまいます。あたりまえの日々が、なつかしい思い出となってしまうことを、寂しく感じています。

在校生のみんな、私たち三年生についてきてくれてありがとう。みんなのおかげで、部活動、運動会、文化祭など、どれも最高の思い出を作ることができました。これからの伯方中学校を、よろしく願いします。今まで本当にありがとう。

先生方、たくさん迷惑をかけてすみませんでした。やんちゃな私たちを見捨てず、時には優しく、時には厳しく、正しい道へと導いてくださいました。先生方からたくさんを教えていただき、大きく成長することができたと思っています。今まで本当にありがとうございました。

家族のみんな、生意気な私を十五年間、愛情たっぷりに育ててくれてありがとう。これからも心配や迷惑をかけると思うけど、いつか親孝行できるように頑張るので、これからもよろしく願いします。

最後に三年生のみんな、今まで本当にありがとう。三十七人、このメンバーでいられて本当に良かったと思います。いろいろなことがあったけれど、みんなと一緒に過ごした日々は私の一番の宝物です。一生忘れません。みんなのおかげで、私はとても幸せです。今まで本当にありがとう。みんな、大好きだよ。

私たちは今日、伯方中学校を旅立ちます。ここで学んだことを糧とし、理想の自分に向かって一歩ずつ進んでいきます。学校生活を支えてくださった、全ての方々に改めてお礼を申し上げるとともに、伯方中学校のさらなる発展を願って、答辞とさせていただきます。

<終わりに>

4月の「全国一斉臨時休校」から始まったこの1年…。「新しい生活様式」を踏まえた学校生活と家庭生活。学校からは、次々と感染防止対策のお願いばかりでしたが、保護者の皆さまは、子どもたちのために、真剣に取り組んでくださいました。市総体や新人大会、運動会や文化祭など、子どもたちが楽しみにしていた行事は、ことごとく中止や規模縮小の実施となり、本当に苦しい日々が続きました。

しかし、子どもたちは、限られた状況の中で考え、自分たちができることを見つけ、従来とは違った形で実践する方法に悩み、工夫し、協力し合い、立派な成果を上げました。運動会での応援合戦やダンスでの3年生の輝いていた笑顔がそれを一番に物語っていたと思います。

保護者の皆さまには、今年度、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

そして、来年度も引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力を、よろしく願いいたします。